

事業所名 社会福祉法人安積愛育園 安積愛育園パローネ

公表日

2025年3月17日

	チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		2		例年支援度に変動があり、定員の総数に対する職員の数に適性でないと感じる時もある。また、送迎ニーズも増えている中送迎対応の人数の確保も検討が必要。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		3		玄関等に段差があり、構造化しておりパーテーション等があるため、車椅子等の方には使いにくい箇所がある。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		2		清潔に保っているが、建物や設備等は古い。段差があったり、断熱材が無いため夏は暑く冬は寒い。その中で、掃除等はこまめにし、清潔に保つようしている。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務 改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		2		毎年事業所評価を実施しているが、ソフト面の解決は検討できるが、ハード面については改善に時間を要する。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。※法人実習生等のアンケートも含む	5		2	第三者評価は実施していないが、外部からの見学者や実習生にアンケートをいただいている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		1		午後からの研修等に参加したいと思っても、支援時間と重なると、その分職員が減ってしまうことを考えると簡単には参加しづらい。
適切 な 支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				

の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		2		開始前より毎日振り返りを実施しているので、支援の方向性は確認しながら進めている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7				
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7				
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	7				
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		1		スケジュール等で活動を2択にして本人が参加したいものや、おやつを選択性によって自身で食べたいものを選んでもらうなど意志表出の機会を設けている。
適切な支援の提供	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7				
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		1		地域のかたとのかかわりが少ないが、関係機関とは密な連絡をはかっている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	1		対象年齢が3年生までのため、成人サービスの移行に関しては連携実施していない。新規事業所利用時などは事業所への引継ぎ、情報共有は行っている。
関係機関や保護者との	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	7				

連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。 ※公園や外出等での地域の子ども達とのふれあひも含む	5		2		地域の方と交流する機会の設定ができていない為、今後保護者の方のニーズもふまえながら地域の方との活動について検討していければと思う。
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。 ※代表職員の参加、伝達も含む	6		1		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7				
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				ペアレントトレーニングや保護者向けの勉強会の設定はできていない。各家庭のニーズに応じて情報提供は行っている。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		1		保護者の意思は反映できているが、子供自身の意思を反映できているか分からない。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7				
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6		1	保護者会はないが、年に2回程度ママランチを実施している。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7				
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		1		活動の様子をSNSや広報誌に掲載している。写真掲載などは都度確認をとっているが、掲載先のURL等を明確にお伝えできていない。
保護者への説明等	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7				
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7				
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4	3		地域住民とのかかわりについて、隣家の方とは顔見知りとなっているが、それ以外の地域の方との交流はない為、保護者の方の意向も聞きつつ対応について検討していきます。
非常	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7				
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7				
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7				
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		1		アレルギー結果を確認しているが、医師の指示書までもらうケースはない。

時 等 の 対 応	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7				
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7				
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7				
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7				
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				

事業所名 社会福祉法人 安積保育園パローネ

公表日 2025年3月17日

利用児童
数

35名

回収数

20名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20					子どもが満足している様子なので、わかりやすく、思いっきり活動できていると思う 各々の活動スペースがわかれていて、集中して活動できるように工夫されていると思います。	ご意見いただきありがとうございます。今後も構造化などをしてお子さんたちが活動しやすい環境設定をまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20					いつでも対応がスムーズですし、足りなさは感じないです 1人に対して職員さんが1人付いてくれることが有り難いと思います	ご意見いただきありがとうございます。今後もお子さんたちにそった対応ができるよう努めてまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。	20						
	4 事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2			1		保護者様に施設内をご覧いただくことが契約前の見学時しかないので、事業所内の様子を知っていただく為に見学会を設けるなどの対応をさせていただければと思います。
	5 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20						
適切 な 支 援 の 提 供	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20					本人の可能性をみながら支援していただき感謝します	ご意見いただきありがとうございます。お子さまたちの特性を活かしながら、できる、できたという成功体験をつんでいただけるよう支援させていただきます。
	7 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	20						
	8 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20						
	9 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1	3				ご意見いただきありがとうございます。個別支援計画についての説明やガイドラインについてご説明する機会が不足しておりました。、今後ガイドラインや個別支援計画についてのお知らせ等を配布させていただければと思います。
	10 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20						
	11 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19				1		月ごとのイベントなどにおいてプログラムがマンネリ化している部分もあるかと思われますので、保護者様からのご意見も伺いつつ、お子様が楽しんで活動できるプログラムを計画していければと思います。
	12 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。※公園や外出等での地域のこども達とのふれあひも含む	14	2	1		3		公園等への外出時は地域のお子さんと一緒に遊ぶ機会もありますが、それ以外では設定できていない部分もあるため、地域のお子さんとの交流については、保護者様の要望もろかがいつつ、対応について検討させていただければと思います。
13 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20							

保護者への説明等	14	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					
	15	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1				ご意見いただきありがとうございます。家族支援を依頼された場合は地域の状況やサービスの流れについて説明する機会を設けています。しかし、研修などの実施はできておりませんでしたので、まずは情報提供の機会を増やしていけるよう検討させていただければと思います。
	16	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	20					
	17	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20					
	18	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19		1			ご意見いただきありがとうございます。保護者様から信頼されるよう、今後も保護者の方に寄り添いながら対応させていただきます。
	19	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 ※保護者食事会、ママランチ等も含む	18	1		1		ご意見いただきありがとうございます。父母の会についての活動はありませんが、年に2回保護者の方に希望をとり、ランチ会の開催をしております。
20	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20						
保護者への説明等	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20					
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16		2	3		ご意見いただきありがとうございます。法人のHP、SNSにおいて活動の様子を掲載しております。自己評価の結果をホームページには記載しておりますが、書面でのお渡しが出来ておりませんでした。今後は掲載後にお知らせさせていただきます。
	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20					
非常時等の対応	24	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19			1		
	25	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			1		ご意見いただきありがとうございます。各マニュアル等については再度ご周知・説明の機会をもうけさせていただきます、わからないという現状の改善をはからせていただきます。
	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19			1		
	27	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17			3		
	28	こどもは安心感をもって通所していますか。	20					
	29	こどもは通所を楽しみにしていますか。	20				毎回とても楽しみに通っています。	ご意見いただきありがとうございます。ご利用されているお子さんたちに楽しいと思っていいただける活動を今後も継続させていただきます。

満足度	30	事業所の支援に満足していますか。	20		<p>いつも手厚いサポートしてくださって大変助かっています。</p> <p>親子で不安なことに寄り添っていただいとてもありがたいです。</p> <p>いつも丁寧に、寄り添った支援をして頂き、本当に感謝しております。3年生までしか利用できないことが、残念です。ここまで専門性が高い事業所は無いと思うので、何かしらの形で、相談やアドバイスを受けられるとありがたいです。</p> <p>3年生で終わりということがとても残念です。とても成長の感じられる3年間でしたのでできれば、小学生の間は通いたかったです。</p>	<p>ご意見いただきありがとうございます。サポートに関しては今後も継続して保護者様お子様によりそったサポートをさせていただければと思います。</p> <p>提供年齢が1年生～3年生ということでご不便おかけしており申し訳ありません。対象年齢を拡充できるよう検討させていただければと思います。</p>
-----	----	------------------	----	--	--	--

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	社会福祉法人安積愛育園 安積愛育園パローネ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数) 20名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応、2～3人のグループ活動などお子さんにあわせた対応を行っている。	契約時は保護者の方のお話だけでなく、通所している事業所や保育所、幼稚園、学校等多方面から情報をいただき初回対応について個別対応か、グループ対応かを検討している。定期的にスタッフ間で話し合いを行い、個別対応かグループ対応かについても随時修正を行っている。	事業所内だけだと偏った意見になる可能性もある為、第三者視点で支援の対応について確認してもらう機会を設ける。
2	障がい児支援の経験が長い職員が多く、ご家庭での過ごし方の相談や児童クラブ、学校についての相談をうけアドバイス等を行える。	経験年数の高いスタッフから保護者へのアドバイス方法・対応方法について助言する機会を設けている。また、担当者会議などで若手スタッフも同行し経験をつむことで、事業所内だけでなく外部とのやりとり、福祉サービス外の流れも知識として得られるようにしている。	外部研修に積極的に参加し、新しい知識を得る。福祉の視点だけでなく、こどもに関連する知識、教育や医療側の視点について理解する機会をもつ。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ハザードマップ上水害エリアになっている。避難訓練のお知らせはしているが、実際おこなっている様子をみていただけない。	災害エリア外への引っ越し先がみつからない。	災害エリア外で、現在の建物面積程度の物件を探すこと。
2	対象年齢が1年生～3年生と利用できる年齢が限られている。	営業時間が17時までと対象年齢を広げた場合に提供時間が短くなってしまう。	ハード面の検討と、営業時間の見直し、送迎範囲などニーズを考慮しながらどこまで対応できるのか検討が必要。
3			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	安積愛育園パローネ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 3月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 3月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○訪問先施設評価実施期間	2025年 1月 31日		2025年 3月 6日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	放デイを利用している方を対応している為、学校のみではないご本人の様子も把握したうえで対応できる	訪問支援員と放デイスタッフとの情報共有を適宜行っている。 放デイで活用している視覚支援やツールを共有している。	・訪問支援員のみではなく、放デイスタッフも同行することで、日々の様子の違いやご本人の特性を活かしたサポートができないか、複数の目をいれることでよいサポートができるかと思う。
2			
3			

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が不足している	保育所等訪問のできる経験のあるスタッフ数が不足している。 各事業所の職員数が充足していない。	各事業所の職員のスキルアップを目指すとともに、職員補充兼務者の検討も必要。訪問につなげないケースに関しては関係機関でつなぐなど、極力ニーズに応えるように対応する。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	安積愛育園パローネ						公表日	2025年3月17日		
						利用児童数	3			
								回収数	3	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3								
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3								
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3								
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3								
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3								
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3								
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3								
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	3								
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2		1			ご意見いただきありがとうございます。 支援計画についての説明やガイドラインについてご説明する機会が不足しておりました。今後ガイドラインや支援計画についてのお知らせ等を配布させていただければと思います。			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3								
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3								
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3								
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3								
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	3								
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	3								
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3								
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3								
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3								
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3									

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	3				
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3				
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				
非 常 時 等 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3				
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2025年3月17日

安積愛育園バローネ

利用児童数

3名

回収数

3名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	3			問題行動が起きてしまう特定の場面について、簡潔に解決策をご助言頂きました。 子どもたちの実態を考慮して学校でできる支援を具体的に考えて下さり感謝しております。	ご意見いただきありがとうございます。今後も学校や保護者さんと情報共有をはかりながらご本人の支援について具体案を提案させていただくなど、サポートさせていただければと思います。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3			児童の学校での様子を観察する際は、児童に刺激や影響を与えないように配慮してもらえた。	ご意見いただきありがとうございます。学校や児童クラブに訪問させていただく際には他のお子さんや先生のご迷惑にならないよう細心の注意を払わせていただきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	3			電話での短時間のやりとりでも、的確にアドバイスを頂けてありがたかった。 保護者とも連携して下さり一緒に対応することができました。	ご意見いただきありがとうございます。今後も適時適切な回答に心がけてまいります。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	3			大きな困り感があった児童の問題行動が少し落ち着いた。 学校とその他の場所でまた違った様子を教えていただき児童理解につなげることができた。	ご意見いただきありがとうございます。今後も課題や困りごとが少しでも軽減できるよう、ご協力いただきながら訪問させていただければと思います。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3			常に児童と保護者と学校に寄り添って支援してくださっている。	ご意見いただきありがとうございます。学校や児童クラブの方とよりよい関係を築けるよう邁進してまいります。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<p>・対象児童の特性を専門的な視点からみとり、適切な支援の仕方をご提案頂いています。学校と愛育園さんとが、ほどよい期間と距離間で繋がっていることで、学校としても、とても安心して児童の指導にあたることができます。引き続き、よろしく願いいたします。</p> <p>・いつもありがとうございます。支援の方法はもちろんのこと、これまでの児童の姿などもお話しくださり、成長したところも一緒に共有できたこともうれしく思いました。</p>					<p>ご意見いただきありがとうございます。今後も具体的な提案や視覚ツール、手順書の提供などを行いながら、集団での活動におけるご本人の困り感の軽減、学校や児童クラブでのお困りごとに対するご助言などを行ってまいります。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		安積愛育園パローネ			公表日	2025年3月17日	
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境 制・ 整 運 備 営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	1	1		各児童にあったものを都度準備している為、 必要に応じての準備となるため事前に準備さ れているものはない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2				
業 務 改 善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	2				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	2				
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	2			訪問担当から放デイ職員にフィードバックし ている。また、相談については放デイ職員と も相談検討してから訪問先に回答している。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	2				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	2			適宜研修に参加できている。	
適 切 な 支 援 の 提 供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	2				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			計画の内容については放デイスタッフにも共 有している	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	2			フォーマルなアセスメントは外部の評価に 頼っている	日々の様子は学校や児童クラブ、放デイ事 業所に聞き取りを行っているが、フォー マルなアセスメントにおいては心理検 査・発達検査の共有のみとなっている。
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	2				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	2			必要に応じて共有している。 訪問支援計画を放デイスタッフにも共有し ている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	2			訪問は一人でやっている為、必要な時に 一緒に行ってもらう場合は、事前に共通理 解をして行っている。	放デイ利用児ケースで訪問しているの で、放デイの様子や最近の家庭の様子を 共有しているが、訪問員のみで対応す るケースが多いので、放デイスタッフも 同行できると尚共通理解がはかれて良 いと感じる。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	2				
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	2					

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2				
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			訪問がある時に限らず、電話連絡をして定期的に様子を伺うようになっている。	セルフプランが多いので相談員と連携するケースがあまりないが、関係機関と連携して情報共有は適宜はかっている。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2				
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2				
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2				
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2				
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2				
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			情報提供を行なっている。 各家庭に応じた情報提供は行っているが、研修などは実施できていない。	
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2				
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2				
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2				
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2				
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2				
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2			訪問事業ではなく事業所として行なっている	放デイ事業所でママランチを実施している。 訪問事業所としての開催は行っていない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2				
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2				
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2				
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2				
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2				
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2				

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2				
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			2	訪問の場合は万が一何かあったら、訪問先の指示に従って動いた方が良いと思っている。	放デイ事業所のマニュアルは各家庭に伝達させていただいている。訪問事業所のみマニュアルはなく放デイと同様となっている。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2				
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2				
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2				
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	2			対象児がいない為、個別支援計画には記載していない	